

# 地域の未来を話し合おう！ 第1回行政区ワークショップ 始まる

～までのいの村に陽はまた昇る～



▲行政区の課題を話し合ったワークショップ(7月24日のようす)

村では、行政区ごとの地域づくりや土地利用の見直しのために第1回行政区ワークショップを始めました。村内の除染や賠償が進まない状況で、帰村後の村の姿を考えると難しいという声が多いながらも、ふるさと飯館村をこれからも残していかなければなりません。村民一人ひとり、帰る・帰らないは別として、行政区ごとに将来に向けての議論を行うワークショップは重要です。ワークショップで出された課題は、復興計画(第4版)に盛り込む予定です。

村では、帰村に向けて地域づくりと具体的な土地利用についての検討を進めるために、行政区ワークショップを開催しました。計画策定に当たり、検討の前提条件として「除染が終了し空間線量が年間5ミリシーベルト以下で農作物の作付け可、帰村率50パーセント程度、村内インフラ整備が終了、公共施設が再開」しています。第1回ワークショップは、7月22日から26日までの5日間、飯野出張所で行いました。各行政区からは、区長を中心とした5人から10人程度の代表者が、村の復興計画の策定関連業務を委託している株式会社三菱総合研究所の進行で行政区の課題を話し合いました。村内の除染が進んでいない状態で、農地や帰村について考えることは難しいながらも、それぞれの代表が地域の将来について語り合う場となりました。

今回のワークショップで出された行政区ごとの課題は、どの行政区にも共通する課題と個別の課題に整理し、8月に行う中間報告会で発表されます。その後、10月に行う第2回行政区ワークショップで課題解決の協議を行い、地域づくりや土地利用の提案や方策を集約し、復興計画(第4版)の地域計画として策定します。

この計画をもとに、村の施策を検討し、国や県に対して帰村後の営農や生活などに対する支援の制度化や予算措置などを要望する予定です。



▲課題を付箋紙に書き出していきます

- ### ワークショップで出されている共通の課題
- 除染の先行が見えないと帰村の見通しも立たない。
  - 高齢者しか戻らないのではないか。
  - 帰村できるかどうかは農業が再開できるかどうかによる。
  - 若者が戻れる地域にしないといけない。
  - 住まないでいる家が傷んできている。
  - 草刈りなどの共同作業が現在ではできているが、今後もできるか不安。
  - サル・イノシシなどの鳥獣被害がひどい。
  - 人が半分しか戻らないのであれば、土地も集約して使うことが必要
  - 雇用がなければ人が戻らないので、何か新しい産業を始めることが必要

### 今後のスケジュール(予定)

中間報告会(福島県青少年会館)  
8月12日(月)午後6時30分

第2回ワークショップ  
10月7日(月)

10月8日(火)  
関根・松塚、白石、前田、二枚橋・須賀

10月9日(水)  
比叢、長泥、藤平

10月10日(木)  
飯樋町、前田・八和木、大久保・外内、上飯樋

10月11日(金)  
小宮、八木沢・芦原、大倉、佐須

草野、深谷、伊丹沢、関沢、宮内

## 行政区ワークショップに参加して

### 高橋正弘さん(長泥)

帰村については、誰でも帰りたいという気持ちは少なからず持っていると思います。自分もその思いはあるものの、どこかで線引きをして、次のステップに進みたいのですが、情報がいろいろありすぎて、判断できずにいます。家族のことを考えると、なおさらすぐには判断できません。

村の自宅へ一時帰宅している人もいますが、5年もすれば自分の家も傷んでしまうので、コミュニティーセンターなどを整備してみんなが集まって宿泊もできるようにすると思います。自分の家に帰らなくても、そこに行けば誰かと話ができるような。そうすれば、徐々にでもふるさとに足を向ける人が増えるようになるかもしれないし、ちょっとずつでも帰村についての考え方が変わる人もいるのではと考えています。



### 高橋昭雄さん 齋藤昌良さん(ともに深谷)

除染が終わったとしての話でしたが、除染がはっきりしていないのに、終わったと仮定して考えるのは難しいです。部落の中でも避難でばらばらになってしまったので、帰村についてのお互いの意見も分からないのが実際です。全体が集まる場がありませんから、たまに会った人としか話す機会がなくて。

これから深谷では、10月に1泊の勉強会をやって、帰るか帰らないか、困っていることは何か、個人的に問題を出し合い、組や班ごとにまとめる話し合いをしようとして予定をしています。それをワークショップに生かしたいです。それぞれの家庭の状況もばらばらですが、帰村の前提は、子どもから老人までが帰れる状態と考えています。